

有 珠 山

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

○火山活動評価

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況（2021年7月～2022年6月）

2021年7月以降の発表履歴	現在の警報・予報（噴火警戒レベル、キーワード）
変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）

○2021年7月～2022年6月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①～④、図2～5）

監視カメラによる観測では、山頂火口原からの噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

2022年1月18日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）及び2022年5月23日から24日にかけて実施した現地調査では、山頂火口原内の噴気等の状況には特段の変化は認められず、赤外熱映像装置による観測でも地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。その他の火口についても、噴気等の状況に特段の変化は認められませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-⑤、図6）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図7）

GNSS連続観測では、火山活動の高まりを示すような変化は認められませんでした。

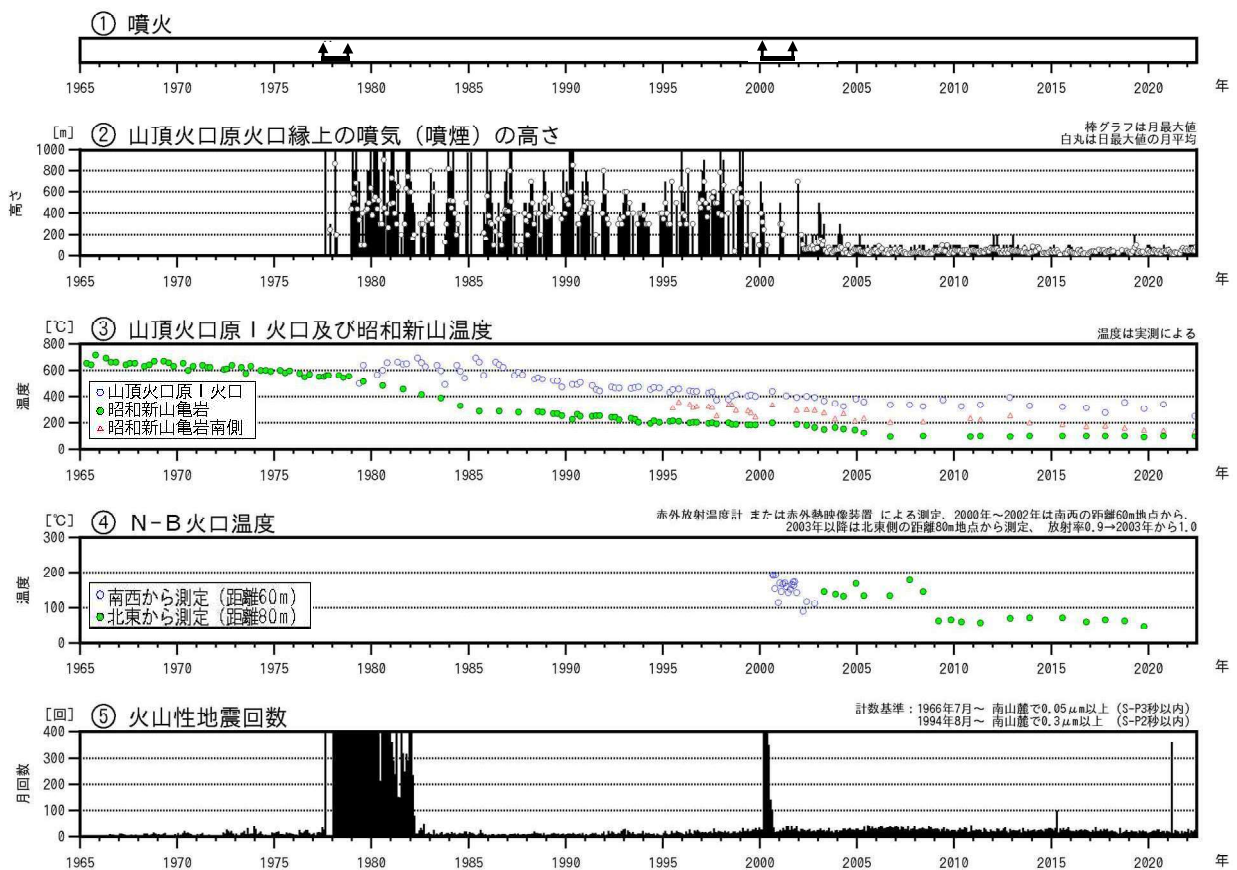


図1 有珠山 火山活動経過図（1965年1月～2022年6月）
↑印で挟まれた期間は噴火活動期を示します。



図2 有珠山 北西側から見た山頂部及び周辺山麓部の状況（月浦監視カメラによる）

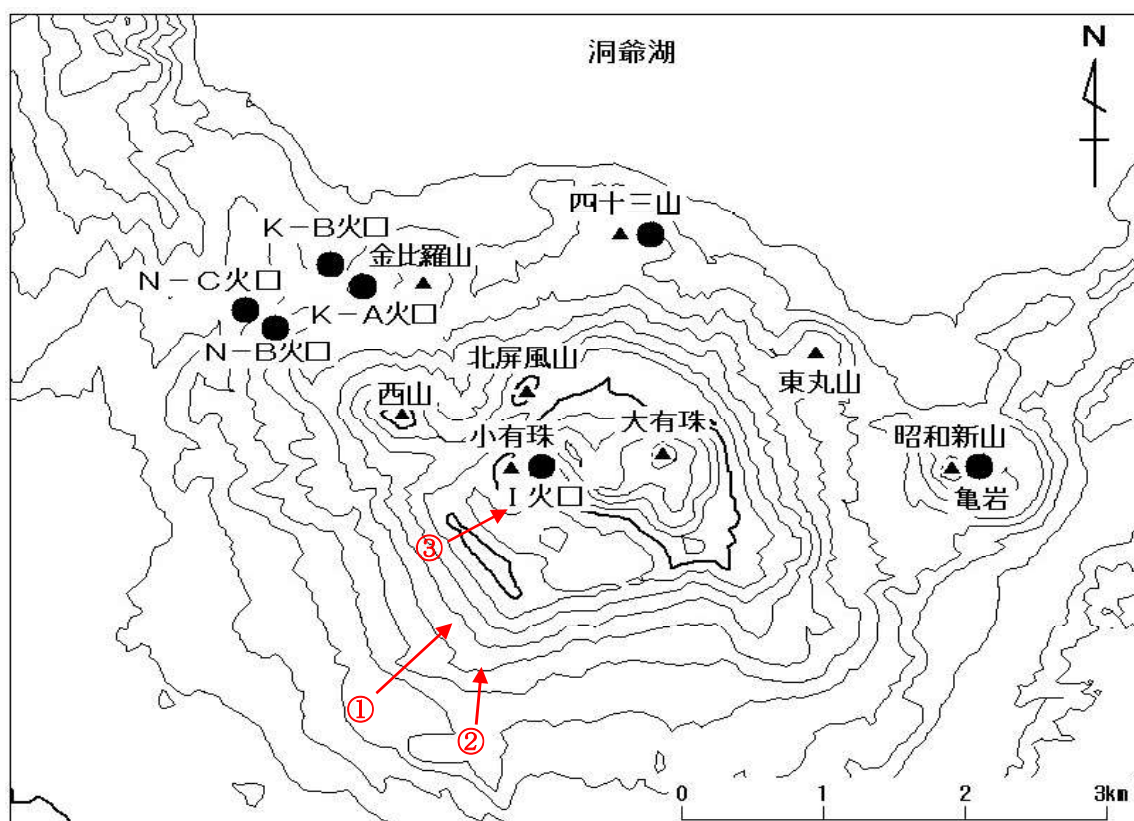


図3 有珠山 火口周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影位置（丸数字）と方向（矢印）



図4 有珠山 山頂火口原の状況

南西側（左図）及び南側（右図）上空（左図：図3の①、右図：図3の②）から撮影

- ・前回の観測（2021年1月）と比べて、山頂火口原内の状況に特段の変化は認められませんでした。